

科目名	子どもの保健				担当	吉澤 恵子		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年後期	実務経験	保健師として保健センターや発達相談センター等での勤務経験あり	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y2201	DPとの関連	2
授業概要	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義や子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。また、子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解し、疾病とその予防及び他職種間の連携、協働の下での適切な対応について理解する。							
到達目標 学習成果	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する 2. 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する 3. 子どもの心身の健康状態とその把握について理解する 4. 子どもの疾病とその予防及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する							
授業計画	回	内容						
	1	オリエンテーション：本授業の概要・目的を理解する						
	2	子どもの健康と保健の意義について：保育指針による生命の保持・情緒の安定と子どもの発育・発達について理解する						
	3	健康の概念と健康指標について：母子手帳について知り活用できる（グループワーク）						
	4	衛生統計から見える現状について知る：現代社会における子どもの健康と課題について理解する						
	5	子どもの発育・発達と保健①：子どもの身体的発育について理解する						
	6	子どもの発育・発達と保健②：子どもの運動機能の発達について理解する						
	7	生理機能の発達と生活習慣①：体温調節・呼吸器・循環器の発達について理解する						
	8	生理機能の発達と生活習慣②：体液調節・消化・排泄機能の発達と生活習慣について理解する						
	9	子どもの健康状態と把握①：子どもの健康状態の観察と体調不良の早期発見について知る						
	10	子どもの健康状態の把握②：健康診断について知り、保護者との情報共有や家族支援について理解する						
	11	子どもの病気と予防及び適切な対応①：子どもの免疫の発達と感染症の特徴について知る ～ウイルスや細菌感染について～						
	12	子どもの病気と予防及び適切な対応②：感染予防とその対応について理解する ～感染経路、予防接種、日頃の感染対策～						
	13	子どもの病気と予防及び適切な対応③：アレルギー疾患の特徴、急性、慢性疾患の特徴と対応						
	14	保健活動と虐待防止について：保健活動における地域連携と虐待防止について理解する						
15	子どもの発達の特性と疾患について知る（まとめ）							
評価基準	1. 乳幼児の身体的な成長、運動機能の発達など発育の特徴を述べることができる 2. 健康観察の重要性を保育者の観点から説明でき、保育における健康増進や疾病、感染予防が説明できる 3. 子どもの保健の視点で、専門職として関連機関との連携等のあり方を説明できる							
評価方法	期末試験 80%・小テストや提出課題 10%・授業態度 10%							
フィードバック 方法	リアクションペーパーを参考に、前回の授業の振り返りを簡単に行い、課題等は採点后に授業中に返却し、講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト 改訂第2版 小林美由紀編著 森脇浩一編集協力 診断と治療社							
参考書	・国民衛生の動向 厚生労働統計協会 ・保育所保育指針							
履修条件	子どもの発育、発達に関心を持ち、子どもを取り巻く環境にも広く目を向けること							
授業外学習	事前学習：授業計画で示された事柄について、身近な子どもたちを観察する習慣をつける（各回 30分程度）事後学習：教科書や配布されたプリントを振り返りポイントを整理する（各回 30分程度）							
オフィス アワー	授業の際に伝える							